



# ふくい歴史マップ

Historical map of FUKUI



## ガイド・モデルコース

■歴NAVIふくい (歴史のみえるまちづくり協会) 福井市歴史ボランティア「語り部」

■福井県公式観光サイト ふくいドットコム 福井県内のボランティアガイド

■福井市立郷土歴史博物館 博物館ボランティア「とねりの会」

■養浩館庭園 ふくい観光おもてなしガイド

## 文化施設

福井市愛宕坂茶道美術館 福井市橋曙覚記念文学館 福井市グリフィス記念館

【表紙写真】 福井城址・継体天皇像(足羽山三段広場) 柴田勝家像(北の庄城址公園)・養浩館庭園

発行/公益財団法人 歴史のみえるまちづくり協会 〒918-8007 福井県福井市足羽1丁目6-34 福井市橋曙覚記念文学館内 TEL 0776 375-0855

## 越前

### 六十八万石を歩く



#### ①福井城址 MAP D-2

福井城は越前松平家17代にわたる繁栄の舞台となった名城。徳川家康の二男・初代福井藩主結城秀康が慶長6年(1601)から6年をかけて築城。加賀前田藩に次ぐ68万石の大藩にふさわしく、四重の堀に囲まれた広大な城で、当時は、高さ約37m・四層五階の雄大な天守閣がそびえていた(12階建てのビルに相当)。現在も、本丸石垣と内堀が残されている。また、藩主が本丸と三の丸御座所への往復に使用した「御座下橋」が平成20年、「山里口御門」が平成30年に復元されている。



#### ②瑞源寺 MAP A-4

5代藩主昌親とその母高照院の菩提寺。本堂と書院はそれぞれ、福井城本丸御殿の小座敷と大奥御座ノ間を拝領移築したもので、福井城に関わる唯一の現存建築。県指定文化財。平成19年秋から2年半をかけ、本堂・書院の修復が行われた。初秋は境内の萩が美しい。事前連絡が必要 TEL 0776-35-1868

#### ③養浩館(旧御泉水屋敷)庭園 MAP D-1

福井藩主松平家の別邸。国指定名勝。かつて舟遊びも楽しんだといわれる広大な園池を中心とした回遊式林泉庭園と数寄屋風書院造の建物からなる。

■ 9:00~19:00(11月6日~2月末は17:00閉館) ■ 12月28日~1月4日 ■ あり TEL 0776-20-5367(市文化振興課)



### 柴田勝家が築いた幻の名城



#### ④北の庄城址公園 MAP D-3

柴田勝家が築いた北庄城の天守があったとされる。北庄城は天正3年(1575)に築城がはじまり、織田信長の安土城天守(7層)をしのぐ、9層の天守閣をもつ日本最大級の城だったと記録に残っている。天正11年(1583)羽柴秀吉に攻められ落城。城もわずか8年で「幻の名城」となった。現在は、勝家とお市の方を祭る柴田神社、茶々・初・江を祭る三姉妹神社、資料館などがある。

■ 9:00~17:00(資料館)

#### ⑤西光寺 MAP C-3

柴田勝家、お市の方の菩提寺。境内には勝家一族の墓があり、資料館には、馬印、念持仏、刀など勝家の遺品が展示されている。事前連絡が必要 TEL 0776-36-1528



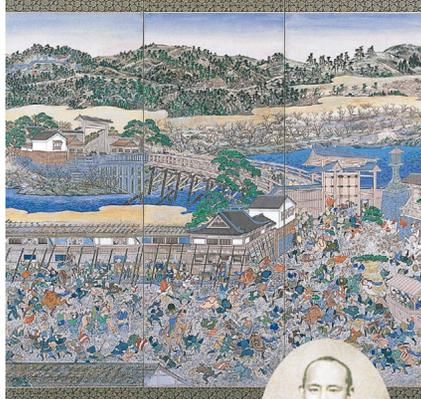
## 福井市 周辺エリア

### 一乗谷朝倉氏遺跡

戦国大名朝倉氏の城下町跡。国指定特別名勝。4庭園が国指定特別名勝。出土した調理具、飲食具、陶磁器、将棋駒などは、すべて国重要文化財に指定されている。最盛期には人口1万人を超え、京に勝るとも劣らない「朝倉文化」を花開かせた。5代義景の時には、後の足利15代将軍義昭の元服式を朝倉館で執り行うなどその威を天下に示した。しかし、天正元年(1573)織田信長に敗北し城下は火を放たれ歴史の幕を閉じた。遺跡は「上下城戸」に防壁された谷間の城下町と山上の一乗谷城で構成され、館跡や庭園、復原町並、見立一乗谷朝倉氏遺跡資料館など見どころが多い。

## 名君

### 春嶽と幕末福井藩



馬威図(部分) | 松平春嶽内閣 | 共に福井市立郷土歴史博物館蔵

春嶽が奨励した年中行事「馬威し」騎馬姿で城下を駆け抜けようとする武士を町人や農民が大衆や鐘の音で馬をおし、落馬させる行事。武士にとっては馬術の訓練、町民たちにとっては日頃の鬱憤を解消する機会となった。



#### ⑥福井神社 MAP D-2

祭神は松平春嶽。境内の恒道神社には、橋本左内、中根雪江、鈴木主税を祭る。松平春嶽(慶永)は、福井藩第16代藩主。中根雪江等優れた藩士の補佐を得て藩財政を再建。文久2年(1862)、現在の首相に当たる政事総裁職に就任し、將軍慶喜とともに幕政改革を推進。国政の中心で活躍した。2022年に「福井神社 建築群8棟」が、後世に残したいモダニズム名建築として、福井県初のDOCOMOMO Japan選定建築物に認定された。



#### ⑦福井市立郷土歴史博物館 MAP D-1

越前松平家伝来の重宝・資料を多数所蔵し展示している。常設展示では古代から現代までの福井の歴史を分かりやすく紹介。福井城本丸の模型や九十九橋の実物模型などを展示し、「へんしん越前屋」では江戸時代の衣服や道具を体験できる。松平家史料展示室や「福井城舎入門遺構」は必見。

■ 9:00~17:00(3月1日~11月5日は19:00閉館) ■ 12月28日~1月4日、臨時休館あり ■ あり TEL 0776-21-0489



#### ⑧内堀公園 MAP D-2

三岡八郎(後の由利公正)と横井小楠の像や、福井城下に関する案内解説板がある。三岡八郎は、幕末の福井藩士。藩の財政改革に成功し春嶽に重用される。坂本龍馬から「(い)ま天下の人物」と呼ばれる。龍馬の推薦で新政府に参画した。五箇条御誓文の草案起草者。横井小楠は龍馬の政治思想家。春嶽により福井に招かれ、藩政改革を指導した。



#### ⑨丹巖洞 MAP A-3

江戸時代後期の弘化3年(1846)に、福井藩医山本瑞庵が別荘として建てた草庵。舟遊を兼ねて藩主松平春嶽をはじめ、横井小楠、橋本左内、中根雪江などの藩の主要な人物がここを訪れた。貴重な遺構が数多く保存されている。なお、現在は料亭となっていて、歴史を感じながら食事を楽しめる。

■ あり 要予約 TEL 0776-36-2668 (見学のみ希望の場合、午前中で都合がえは見学可。要事前相談)

#### ⑩左内公園 MAP C-3

橋本左内の墓と像がある。橋本左内は、幕末の福井藩士。藩主松平春嶽の右腕として、將軍継嗣問題、外交問題について開国派として奔走。他藩の志士とも交友が深く、薩摩藩の西郷隆盛は、自分が年上にも関わらず「君を兄として仕える」とまで言い、左内の優れた才能に敬服していたという。しかし、安政の大獄により捕らえられ、26才の若さで斬首された。10月7日の命日には、毎年 墓前祭が行われている。



#### ⑪由利公正広場 MAP C-3

銅像と解説板がある。(由利公正の紹介は「⑧内堀公園」を参照。)広場の西側には宅跡の石碑があり、坂本龍馬が横井小楠の案内で訪れて、日本の将来について語りあかした際に詠んだといわれる歌の石碑も置かれている。

## 古

### からの歴史を 尋ねて足羽山へ



#### ⑫継体天皇像 MAP B-4

越前出身といわれる第26代天皇。越前平野の治水と笏石採掘で知られ、洪水が治まるよう足羽山から海に向かって矢を放つと、越前平野を覆っていた水が海の方に引いていったという伝説が残っている。石像は明治17年に笏石谷の石工によって、天皇の遺徳をたえたるために造られたもので、今も足羽山山頂から越前平野を見守っている。



#### ⑬足羽神社 MAP B-3

継体天皇と大宮地之靈五柱を祭る。越前最古の歴史を有する神社。皇嗣となって越前を離れることとなった男大迹主(継体天皇)が、自らの生霊を合祀して、馬来田皇女を斎主としたことが始まりとされる。境内の樹齢360年のシダレザクラと参道のモジは市の天然記念物。

#### ⑭藤島神社 MAP C-4

鎌倉時代末から南北朝時代の名将新田義貞を主祭神とし、その一族を祭る神社。初めは義貞戦没地と伝えられる灯明寺暖に建立され、現在の地には明治34年に奉遷された。義貞所用と伝えられる国指定重要文化財の「鉄製銀象眼臂」「太刀」(鎌倉期2口)「結城宗広自筆書状」を所蔵している。



## 風情ある愛宕坂、 浜町界隈へ



#### ⑭愛宕坂 MAP C-3

笏石谷の階段が145段、全長165m続く。江戸時代までは愛宕大権現社への参道として知られ、歴史ある料亭や茶屋が建ち並び、栄えた場所であった。

#### ⑮浜町界隈 MAP C-3

江戸時代、九十九橋の北詰にあたるこの地は城下町の玄関口として賑わった。また足羽川に面し、足羽山を望む景観の美しい石碑があり、坂本龍馬が横井小楠の案内で訪れて、日本の将来について語りあかした際に詠んだといわれる歌の石碑も置かれている。



#### ⑮安養寺 MAP B-3

文明5年(1473)に、一乗谷初代当主朝倉孝景(英林)が一乗谷に建立し、永禄10年(1567)室町幕府15代將軍足利義昭の御所となった。朝倉氏滅亡後、天正2年(1574)に柴田勝家によって現在の場所に再建された。国重要文化財の「阿彌陀三尊二十五菩薩来迎図」を所蔵。また広大な墓地には市の天然記念物に指定されている樹齢400年を超えるといわれるイチヨウの巨木がある。

#### ⑯長慶寺 MAP C-4

柴田勝家、丹羽氏の後の北庄城主堀秀政ゆかりの寺で、自画像も伝えられている。大きな山門を入ると、境内には解説石碑がある。また、市の天然記念物に指定されている樹齢400年を超えるといわれるイチヨウの巨木がある。



#### ⑰通安寺 MAP B-4

大本山永平寺23世が開山(直末)で開創は元和元年(1615)。代々福井藩の家老を務めた柏家の菩提寺。柏家の墓は大きな笏石製の五輪塔で、本堂左手奥の山肌を上ったところにある。また本堂前にも、同じく笏石製の宝篋印塔が並んでいる。

#### ⑱水道記念館(旧足羽揚水ポンプ場) MAP C-3

足羽山配水池へ水道水を送るための中継施設として、大正13年に建設された。大正末期の建築としてはめずらしい鉄筋コンクリート構造で洋風の外観が目立つ。内部には、建設当初のものと考えられるドイツ・メンス社のポンプが残っている。平成3年に稼働を停止し、現在は一般公開している。平成23年、国登録有形文化財に登録された。

■ 9:00~16:30 ■ 毎週月曜日、月曜日が祝日のときは火曜、12月29日~1月3日 ■ あり TEL 0776-35-6751



#### ⑳愛宕坂茶道美術館 MAP C-3

福井市の茶道の歴史を分かりやすく紹介する美術館。常設展示では一乗谷朝倉氏遺跡から出土した茶道具や福井藩主松平家の茶道具を紹介。また、茶道に関する美術品の企画展や特別展を開催している。

■ 9:00~17:15 ■ 12月28日~1月4日、臨時休館あり 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) ■ あり TEL 0776-33-3933



#### ㉑橋曙覚記念文学館 MAP C-3

橋曙覚の生涯や業績を紹介する文学館。橋曙覚は、幕末の歌人、国学者。江戸時代には異色の万葉調の生活歌を詠み、明治になり正岡子規に絶賛された。「独楽吟」の一首「たのしみは朝おきいでて昨日まで無りし花の咲ける見る時」はクリントン元大統領のスピーチに引用された。

■ 9:00~17:15 ■ 12月28日~1月4日、臨時休館あり 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) ■ あり TEL 0776-35-1110



#### ㉒グリフィス記念館 MAP C-3

W.E.グリフィスの功績と、幕末明治を生きた人々との関わりを紹介する記念館。和洋折衷の外観は、「異人館」と呼ばれて親しまれた。グリフィス居宅の復元。グリフィスは、福井藩の米国派遣留学生日下部太郎と交流し、明治初頭の藩校に招かれ、福井の理化学教育の基礎を築いた。日本人を深く理解し、さかんな言論で、日本が国際的に理解されるよう晩年まで努めた。

■ 10:00~19:00 (12月1日~2月末日は18:00まで) ■ 12月28日~1月4日 ■ あり TEL 0776-50-2911

